

国際大会本選で3位

日本トスティ 楽曲コン優勝 バリトン歌手・森翔梧さん

奈良市の日本トスティ協会（NPO法人奈良芸能文化協会内、狭川普文会長）が2023年10月に同市の秋篠音楽堂で開催した声楽のコンクール「日本トスティ楽曲コンクール2023」で優勝したバリトン歌手の森翔梧さん（31）＝高知県出身、東京都在住＝が、イタリアで昨年11月28日～12月1日（現地時間）に開催された「第7回トスティ楽曲国際コンクール」（イタリアトスティ協会主催）で第3位入賞を果たした。日本トスティ協会が発表した。



第7回トスティ楽曲国際コンクールで第3位の表彰を受ける森翔梧さん（中央）＝昨年12月1日、イタリア・オルトーナのトスティ劇場（日本トスティ協会提供）

日本予選として実施され、森さんは日本代表として「本選大会」出場した。

コンクールにはイタリア国内外から40歳以下の若手声楽家38人が出場。1次、2次の審査を通過した6人と、日本代表として1次・2次審査を免除された森さんの計7人が最終審査に臨み、トスティ歌曲を1人4曲ずつ歌唱。森さんはイタリア歌曲「夢」「苦しみ」「フルチネツラは死んだ…」とフランス歌曲「別れの歌」を歌った。

森さんは3位という結果に「トスティの本場イタリアでこのような評価を頂けて大変うれしい。これを励みにより良い歌を歌えるよう精進します」とのコメントを寄せた。

優勝したのはイタリア人ソプラノ歌手のアレッシア・パンツァさんで、日本トスティ協会はパンツァさんに「日伊文化交流日本トスティ協会賞」を授与。今年8月に奈良と東京で開催する演奏会にパンツァさんを招へいする。

同協会の吉川明子事務長は森さんの入賞に祝辞を送るとともに「いっそうトスティ歌曲を歌って広めていただきたい。そしてトスティ歌曲を歌う若い人たちが増えていってくれば」と期待を寄せた。

日本トスティ協会 優勝者に日伊文化賞

数百曲もの歌曲を残したイタリアの作曲家フランチェスコ・パオロ・トスティ（1846～1916年）の歌曲の歌唱力を競うコンクールで、トスティの生地であるイタリア中部の都市オルトーナで、4年に1

度開催されている（コロナ禍の2020年は中止）。日本トスティ楽曲コンクール2023は同国際コンクールの